

黒姫山 山スキー

日程:2008年3月29(土)~30(日)

メンバー:L白土、菊地、田中、西村、
奥平、鈴木(記録)

1/25000 地形図:信濃柏原

一度登った山には二度行くのを避けている私が黒姫山に来るのは今回で5回目、今年は3回目それだけ黒姫山は気に入っている。山は全て急斜面で滑るに最適、木立も適度な間隔で立っており回転するのが楽しい。登るのは西に上がればよく下るのは東に行けばよい、雪やガスで視界が悪くてもまず迷う事は無い。雪は粉雪で施設も整っている…一般的な施設でなく山屋として(ゲレンデの傍に林がありテントが張れる、町営の駐車場や道の駅にも張れる等)。

この山はゲレンデスキーヤーあがりがあるかと稜線からの滑降に躊躇(急斜面、ツリーラン)するがさがみ山友会のメンバーは誰もひるむ人はいなかった。特に西村さん、顔がニコニコして本当に楽しんでいるジャンプターンをしまくり自分で起こした雪崩に巻き込まれ50mほど流されてもびくともしない!!



スキー場脇の樹林帯にテント設営

一日目 3月29日(土)

第二リフト終点 9:00 外輪山稜線 12:00 テン場 13:40

信濃の道の駅に前泊後黒姫スキー場ゲレンデ脇にテントを張りリフトを2本乗り継いで山頂に向かう、曇りで風は無い。他にワンパーターがいるのみ、前日降ったと思われる雪をラッセルし登る。1700m地点で田中さんが白土さん付き添いで下山する、脛にブーツの中皮が当たり靴擦れ状態となった為…後で見たら表皮がはげて赤い肉?が見えていて痛そう。

稜線に着いても晴れず少々の休息後滑降に移る。時々木々の間をガスが流れ幻想的な景色の中滑る、霧氷が綺麗。3月初めはパウダーであったが今山は春となり雪の表面が固く滑りにくい。雪の下20cmに固い層があり滑るとそれが雪崩て後ろから追いかけて来る。止まる時は木の後ろで止りそれを避けるようにした。菊地さんがあの身体でテレマークターンをすると迫力がある、一瞬身体が浮き前後の足が入り替わる、上手いテレマークは見ていて美しい。もっぱら尾根を滑りテン場に着く。

夜はいつものパターンで鍋、私は会社の冷蔵庫に材料の全てを忘れ皆の分をご馳走になる。すみませんでした、鍋はなんと4回戦返あった。

二日目 3月30日(日)

第二リフト終点 8:50 外輪山稜線 12:00 テン場 14:00

全員で稜線に向かう今日は晴れ時々曇り。田中さんの脛は手当ての結果大丈夫との事。昨日のトレースが雪を少々かぶっているものの残っており登り易い、難なく稜線に出る。頂上は更に先であるがアップダウンが激しく行かず。妙高、野尻湖、斑尾、飯縄が見える。今日は昨日に比べ更に雪が悪く引掛かるそれに沢筋を滑った為雪崩もいたる所で起きている。しかし埋まる厚さではなく流れも遅く雪崩を目視して滑れる。中腹迄降りた所でビデオを撮る、自分の滑りがどんなのか楽しみ。1396mの台地の下は木々が立ち混み木の根元の穴も大きくブッシュも煩くなりそれらを避

けて安全に急斜面を滑るのは難しい。誰も怪我せずぶつからず無事そこを抜けた。白土さんのテレマークは身体が柔軟なのか後ろの足の膝が雪面に付き姿勢が低く安定している、やはり上手いテレマークは美しい。

この山は登り3時間～6時間、下りは2時間で降りられる。麓をベースに日帰りでは登るには最適。又ここ数年は大きな雪崩が起きたとは聞いた事が無く安全にパウダーを楽しめる山だと思える。ツアーが出来ないのが物足りないが山スキーのゲレンデとして最適。又来年も厳冬期に來たい。又更にレベルアップの為来年は北アの四ツ岳、猫岳、小日向山、裏鶴峰に行きたい。



スキー場から見た黒姫山東面



菊地さんのジャンプターン



黒姫山外輪山に行く



すでに春山の暖かさ